

中小学校だより

May 31st. 2019 No. 3

どうして修学旅行で奈良・京都へ行くのか

5月29日に、6年生が修学旅行に向けての事前学習を行いました。仏像や寺社に詳しい後藤信義先生をお招きして、お話をうかがいました。「奈良・京都はかつては日本の都だった。寺は今でいう大学と同じ。一番勉強が進んだところ。」「法隆寺の柱は真ん中が膨らんでいるエンタシスで、千五百年も前にギリシャから伝わった。NIKE神殿(ニケ神殿)のNIKEは勝利の女神で、NIKE(ナイキ)はそこから来ている。」「寺で一番大切なのは塔。法隆寺の五重塔の北面には金網があるので見てくるといい。」「仏像はすべて金で作られていた。手には水かきがついている。」など、普段の社会科の学習ではなかなか聞けないような興味深い話をいっぱい聞かせていただきました。途中で、仏像の形を実際に自分でもやってみる場面では、後藤先生を真似ながら全員で仏像の手の形や足の形をやってみました。一緒に参加された保護者の方も「目からウロコ」の情報に感心されることしきり。45分間の授業があっという間でした。6年生の子ども達の反応もとてもよく、いっつぶやきがたくさん聞かれ、メモも一生懸命とっていました。後藤先生も「中小学校の6年生の子ども達はすごくいっつぶやきができる。よく調べているね。」と大変褒めてくださいました。いろいろな学校の6年生を見ていらっしゃる方から大いに褒めていただけたということは、本当に嬉しいことです。



どの学年も、学級宣言に関わる話し合いが進んでいます。5年生・6年生は宿泊研修に向けての取組も始まりました。それぞれの学年で学習や係活動が本格化する一方で、自分達の日常生活を見直す時期になりました。必ずしもうまくいくことばかりではありません。でも、「その活動でどんな力を付けていくのか。」「なぜその活動をするのか?」を考えることは、きっと次の活動へとつながります。どんな活動にも意味があります。自分達の願いの実現に向けて、今一度自分達を見つめ直す6月です。

民生児童委員さんの訪問がありました

各地区の民生児童委員さんや主任児童委員さんの訪問がありました。子ども達の授業の様子を参観されたあとの懇談では、「先生方の働きかけで、子ども達を引きつける授業がされている。すべての子どもに目が行き届く中小学校ならではのよさがある。」「読書の充実に力を入れていることで習慣化されている。6年生の読み聞かせの実践はとてもよい。」などのご意見がありました。また、校区で心配な事案等についても、主任児童委員さんを中心に相談や協力をしていただいたり、市に働きかけたりしていくことも確認しました。地域の方々には、それぞれのお立場で中小学校を応援しています。

